学校/企業研修キット クラウド版　パッケージ版/バルク版/SSO の相違点

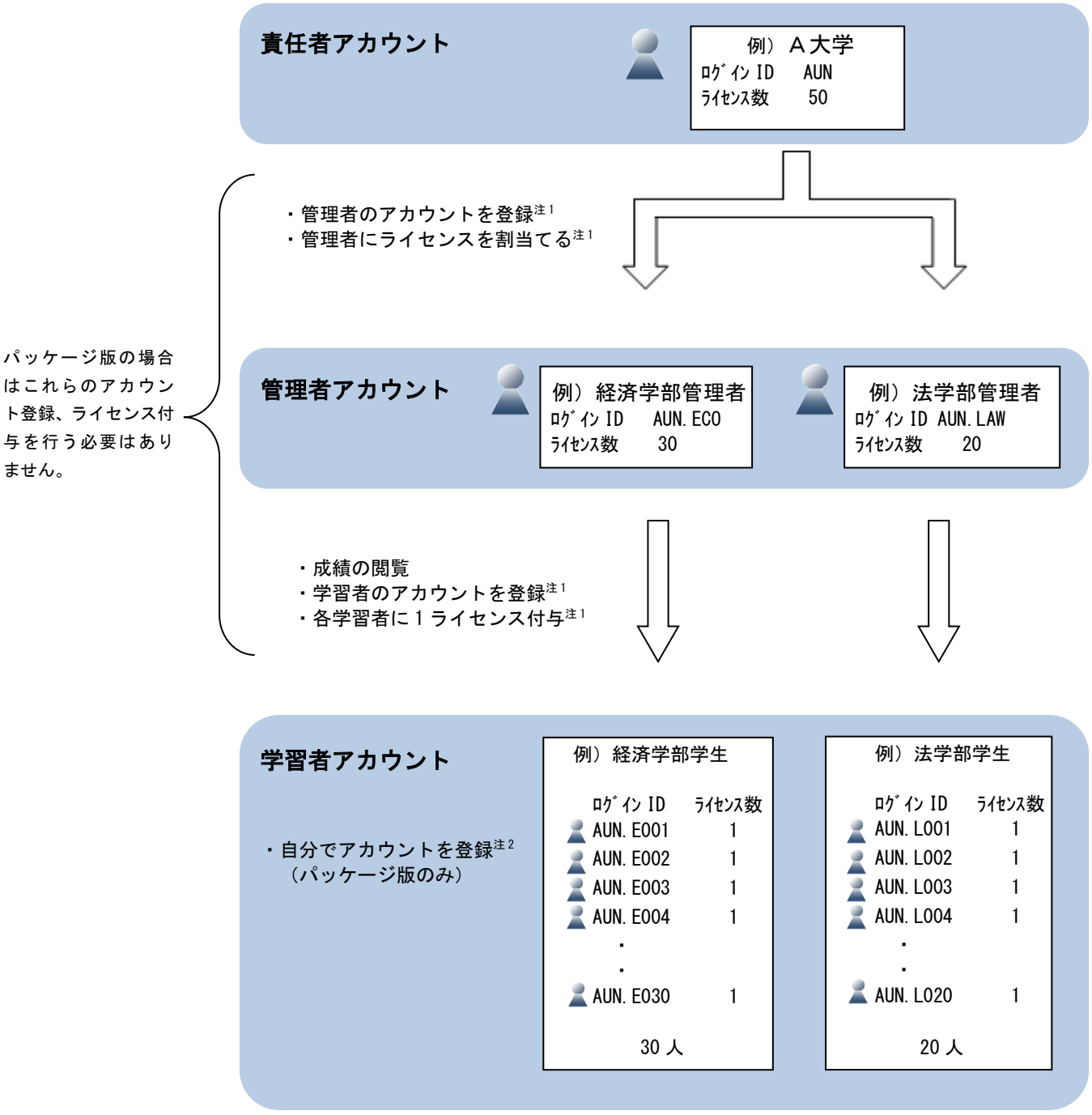
同一の製品で運用していますので、タイピング練習機能、管理者機能は同じです。
製品お届け時の形態、学習者のアカウント作成の手順が異なります。
裏面にアカウントとライセンスのイメージ図を掲載いたしましたのでご参照ください。

	パッケージ版（販売店様向け）	バルク版（通常製品）	SSO（シングルサインオン）
特長	学習者に購入していただくことが可能です。	管理者の方がまとめて学習者を登録することができます。	SCORM 規格準拠の LMS（WebClass など）からログインできます。
製品媒体	1.インストラクターズマニュアル 2.学習者用パッケージ（人数分） パッケージ内容 ・学習者登録シート（登録コード） ・TQ 指ポジションカード	1.インストラクターズマニュアル	1.インストラクターズマニュアル
学習者のログイン ID	ピリオドで区切られた「団体名. メールアドレスの前半部分」という形式（例：AUN16.yamada）または、学内/企業内で使用しているメールアドレスです。 どちらでもログイン可能です。 ※団体名は学校/企業ごとに決められた数文字の英数字です。 ※パッケージ版の場合は、学習者は学内/企業内で使用しているメールアドレスを持っている必要があります。	ピリオドで区切られた「団体名.学習者 ID」という形式（例：AUN16.E2016001）または、メールアドレスです。 どちらでもログイン可能です。 ※団体名は学校/企業ごとに決められた数文字の英数字です。 ※学習者 ID は重複することがない学籍番号などをお勧めします。	LMS のユーザーID をログイン ID として利用します。
アカウント登録方法	学習者(生徒/社員)が自分でアカウントを登録します。 ※登録時に学習者が所属する管理者(先生又は授業名）を選択します。 ※パスワードは学習者が決めます。	管理者(先生)が学習者のアカウントを登録します。 ※初期パスワードは管理者が決めますが、学習者はログイン後に変更することができます。	LMS からユーザーID と氏名を読み込み、初回ログイン時に自動で登録します。
事前にお知らせいただく情報	・希望する団体名 ・管理者ごとに、管理者の名称、ID、学習者数、メールアドレス（管理者の ID は任意に決めていただけます。） ・責任者のメールアドレス	・希望する団体名 ・学習者数 ・責任者のメールアドレス	・希望する団体名 ・管理者ごとに、管理者の名称、ID、学習者数、メールアドレス（管理者の ID は任意に決めていただけます。） ・責任者のメールアドレス ・LMS の種類と URL
学習者アカウント登録手順詳細	1.団体コードを全学習者へ通知していただきます。 2.学習者はパッケージに入っている学習者登録シートを参照して第 1 登録サイトにアクセスします。 3.第 1 登録サイトで団体コード、登録コード、メールアドレスなどの情報を入力します。 4.学習者へ第 2 登録サイトの URL が記載されたメールが届きます。 5.学習者は第 2 登録サイトでパスワード等を入力します。コース(管理者の名称)を選択します。 6.学習者にメールで TypeQuick の URL、アカウント情報が届きます。 7.学習者は通知されたアカウントで TypeQuick にログインして練習を始めます。	1.責任者が管理者のアカウントを登録します。管理者ごとに学習者人数分のアカウントを付与します。 2.管理者(先生)が学習者(生徒)のアカウントを登録します。 ※CSV 形式のファイルで一括登録が可能です。 ※学習者のアカウント作成時に各学習者へメールでログイン ID とパスワードを通知することができます。 3.学習者は通知されたアカウントで TypeQuick にログインして練習を始めます。	1.LMS 上に SSO ログインページを設置していただきます。 2.学習者は LMS の SSO ログインページから練習を始めます。 ※SSO ログインページでは ID とパスワードの入力は必要ありません。 ※ポータルサイトからのご利用についてはご相談ください。

※責任者は学校/企業全体の TypeQuick 管理者です。学校/企業に一つ提供されるアカウントです。
※管理者は実質的に授業/部課の管理者(先生/担当者)です。複数登録できますので、授業/部課の数分登録できます。

2024. 07. 29

アカウントとライセンス　イメージ図



注1：パッケージ版の場合はこれらの作業をする必要はありません。
注2：バルク版の場合は必要ありません。

2024.07.29